

10月25日(日)開催 第2915回例会
兵庫県山岳連盟企画・自然観察山歩同調
ふるさと兵庫 100山

「播磨の伊勢山へ」

高取支部 H・K

例会のお知らせポスターの中に書かれてあった「**低くても見どころいっぱい**の楽しい山！」の文言に魅かれ、参加させて頂きました。姫路駅前より乗ったバス内からすぐ目に飛び込んできたのは、装いも新たな**純白の白鷲城**でした！



素晴らしい見どころは山に入る前からの始まりです。車窓から眺める市街地や、**ゆめさきかわ** **すごうがわ** **夢前川・菅生川の流**れに沿ったのどかな風情は、まるで小旅行に来たような感が有り、終点である青山台までの乗車時間も全く苦になりませんでした。

出発点のヤマザクラ広場で後発組を待ち、案内して頂く山岳連盟はりま支部のリーダーのご挨拶と軽い準備体操後、10時5分にスタートしました。



参加者は45名とのこと。ゆるやかな谷筋の道を少し登った所で地元？の方達と出会いました。大勢の登山者に驚かれた様な様子でしたね！・・・その場所から右側の道を登りつめた尾根筋から急勾配が始まりました。



登りも降りも急坂は大の苦手！トラロープを頼りに前の人に遅れまいと必死です！・・・3～4回アップダウンを繰り返し、伊勢山山頂へ辿りついたのですが、最初に頂いた資料の地図に目をやる余裕など無く、**展望岩**がどこにあったのか？など知る由もなしでした！



伊勢山の山頂は狭く展望も聞かないのでここでの昼食はおあすけ・・・ここから約20分程下った

山城跡である**うとろぎじょうあと** **空木城跡**という場所まで行きますと言うことになり、急坂を下って行きました。

途中、今回の見どころナンバーワンである**しんざ いわや** **神坐の窟**に着きましたが、鬼が口を開けているような感じで、しかもその下へ行くと、鬼の口の中に入ったような錯覚になり、高度感と相まって正直、怖さを覚えたのですぐ引き返しました！



鬼が口を開けているような「^{しんざ いわや}神坐の窟」



岳連旗と一緒に全員集合！



^{しんざ いわや}「神坐の窟」の真上から^{うとろぎじょうあと}空木城跡を望む



口の中の歯の上に立ったような感じです！

さて、ここから楽しみにしている^{うとろぎじょうあと}空木城跡への下りが大変！ 痩せた急勾配をトラロープにすがりながら、少しずつ足を下ろすのですが、人一倍足の短い私には難行苦行！・・・の下降でした。帰りは逆に急登となるこの場所を登り返すということで、食事も落ち着いて出来ないのでは・・・と思っていました、少し肌寒いぐらいの空気がなんとなく心地よく、お腹が満足してくるにつれ、そんなことは何処かへ消えて・・・。それにしても昔の領主はよくもまあ～こんな場所にお城なんかを建てたもんですね～・・・！



アップダウンの連続はゴールであるヤマザクラ広場まで続き、「見どころいっぱい！」の余裕すら無かった私。帰って少し落ち着いてきたら、きっと楽しい思い出となることでしょう！！